

科目名	コーチング概論 1							年度	2024
英語科目名	Introduction to Coaching 1							学期	前期
学科・学年	スポーツ健康学科 スポーツインストラクターコース 1年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	演習
担当教員	手島	教員の実務経験		有	実務経験の職種		コーチデベロッパー		
【科目の目的】 日本スポーツ協会公認指導者資格の取得に必要な共通科目Ⅲおよびコーチングアシスタント資格取得に必要な知識と実践力の獲得を目指します。									
【科目の概要】 コーチングについてアクティブラーニング形式を中心に学びます。									
【到達目標】 豊かなスポーツ文化の創造や、スポーツの社会的価値を高める事に貢献できるようなスポーツ指導者を目指します。 A. スポーツ指導に係る高度な理論的知識や事実に知識を幅広く多様持っている B. スポーツ指導に係る目標達成に向けた複雑で予測困難な課題を解決するのに必要となる高度な技能を持っている C. 常に自らを内省し、課題を設定することで、知識と技能の幅を広げていく意志を持っている D. JSPQが掲げるグッドコーチに必要な要素について理解している E. コーチとして誰とでもオープン且つ、建設的なディスカッションを行い、適切なコミュニケーションをとることができる									
【授業の注意点】 授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができません。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	スポーツ指導に係る高度な理論的知識や事実に知識を幅広く多様持っている		スポーツ指導に係る高度な理論的知識や事実に知識をある程度持っている		スポーツ指導に係る高度な理論的知識や事実に知識を「一部分」持っている				
到達目標 B	スポーツ指導に係る目標達成に向けた複雑で予測困難な課題を解決するのに必要となる高度な技能を持っている		スポーツ指導に係る目標達成に向けた複雑で予測困難な課題を解決するのに必要となる高度な技能をある程度持っている		スポーツ指導に係る目標達成に向けた複雑で予測困難な課題を解決するのに必要となる高度な技能「一部分」持っている				
到達目標 C	常に自らを内省し、課題を設定することで、知識と技能の幅を広げていく意志を持っている		常に自らを内省し、課題を設定することができる		常に自らを内省し、課題を設定することができるが、あまりうまくいかない				
到達目標 D	JSPQが掲げるグッドコーチに必要な要素について理解している		JSPQが掲げるグッドコーチに必要な要素について「ある程度」理解している		JSPQが掲げるグッドコーチに必要な要素について「あまり」理解していない				
到達目標 E	コーチとして誰とでもオープン且つ、建設的なディスカッションを行い、適切なコミュニケーションをとることができる		コーチとして誰とでもオープン且つ、建設的なディスカッションを行い、適切なコミュニケーションをとることができる		コーチとして誰とでもオープン且つ、建設的なディスカッションを行い、適切なコミュニケーションをとろうとはするがあまりうまくいかない				
【教科書】 J S P Oリファレンスブック									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 試験と課題を総合的に評価します。積極的な授業参加度、授業態度によって評価します。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

備考等